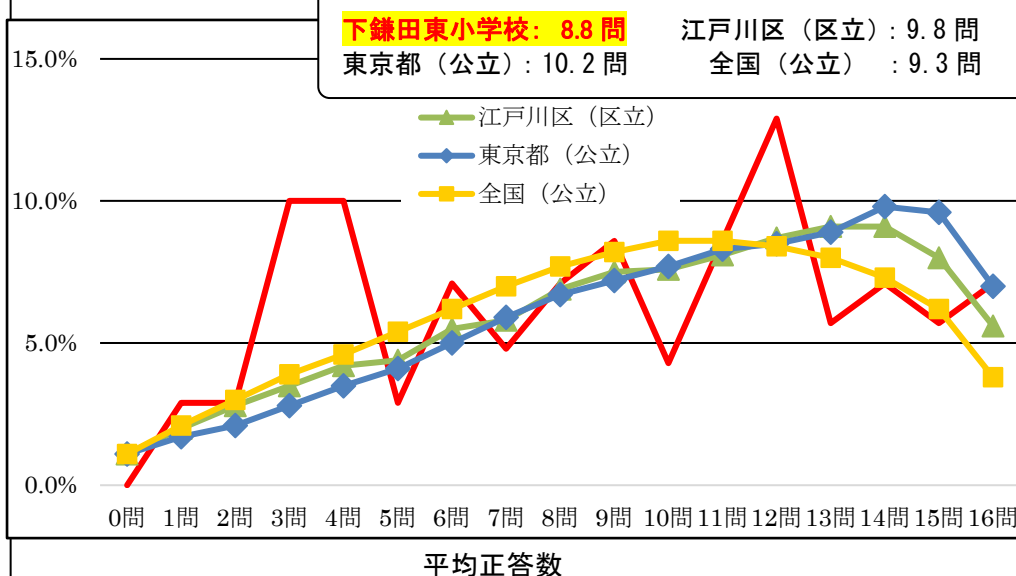


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 下鎌田東小学校

正 答 数 分 布



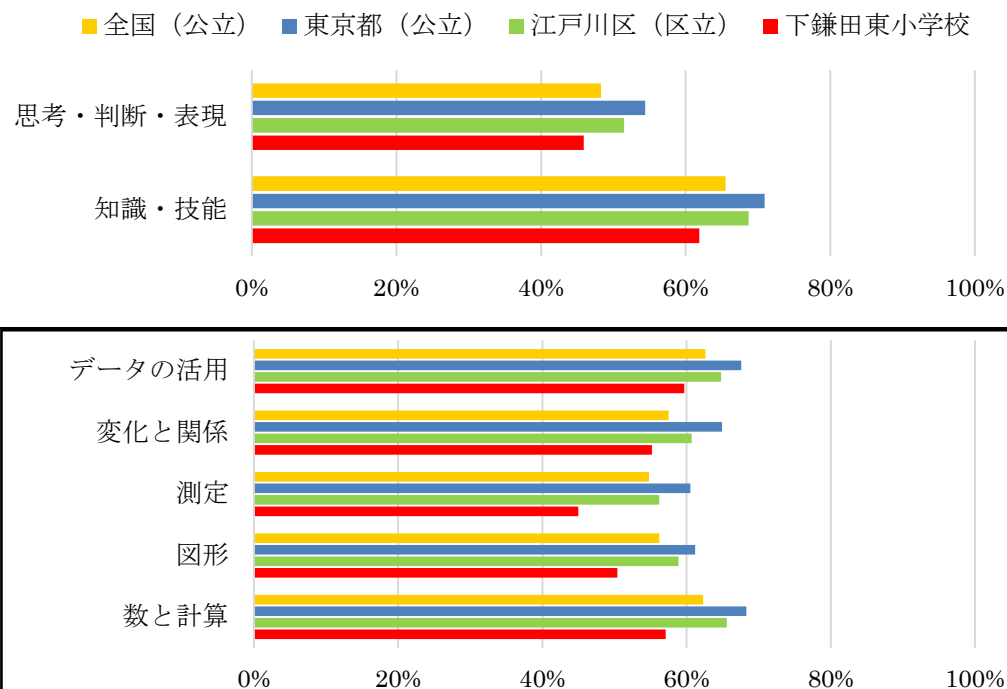
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

算 数	A層 14～16 問	B層 12～13 問	C層 8～11 問	D層 0～7 問
下鎌田東小学校	15.7%	24.3%	24.3%	35.7%
江戸川区 (区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都 (公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国 (公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

下鎌田東小学校	55%
江戸川区 (区立)	61%
東京都 (公立)	64%
全国 (公立)	58%
都との差	-9ポイント

【分析結果】

- ・領域別に全国平均正答率と比較すると、全体的に下回っている。
- ・「変化と関係」は下回っているものの-2.3ポイントと全国平均に近づいている。
- ・「異分母分数の加法・減法」の正答率が低かった。
- ・文章題で何が問われているかの理解ができていない。

【授業改善に向けて】

- ・数の仕組みや数を構成する単位に着目し、分数だけでなく既習の整数や小数の計算に関連付けて統合的に考察する。
- ・途中式を記入するなど、自分の考えを視覚化することで正しく計算する力を身に付ける。
- ・江戸川区算数スタンダードに基づいた問題解決的学習を通して児童の思考力・判断力・表現力を育む。